

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立小立野小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	21.2	27.1	37.6	14.1	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	68.2	28.2	2.4	1.2	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	24.7	56.5	10.6	8.2	0.0
問4	英語の授業がわかる。	31.8	43.5	20.0	4.7	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	17.6	43.5	28.2	10.6	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	20.0	42.4	32.9	4.7	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	89.4	3.5	3.5	3.5	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	85.9	7.1	3.5	3.5	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	51.8	29.4	11.8	7.1	0.0
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	24.7	29.4	27.1	17.6	1.2

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・学習の見通しをもたせるために、単元の導入で学習計画を児童と立てて共有する。
- ・リスニング力を強化するために、音声教材等の使用を増やす。
- ・ターゲットセンテンスを使って興味のある会話を広げられるような活動を取り入れる

③学校関係者評価

- ・英語の勉強が大切だと思っている児童の割合は高いが、英語が好きな児童が50%を下回っているのが心配だ。また、英語で質問したり、答えたりすることの「そう思う」の回答の割合は低い。児童が英語を話すことに自信が持てるように、中学年あたりから学習の成果を外国の方との交流を増やすことで確かめられるとモチベーションができてよい。